

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 8月 4日

## 【評価実施概要】

事業所番号	(※評価機関で記入) 4691700019
法人名	医療法人 松風会
事業所名	グループホーム 松風の里
所在地	志布志市志布志町安楽52番地3 (電 話) 099-472-0911
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54-15
訪問調査日	平成21年8月4日

## 【情報提供票より】(21年 7月 17日事業所記入)

### (1)組織概要

開設年月日	平成 18 年 9 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 15 人, 非常勤 4 人, 常勤換算	17 人

### (2)建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	5 階建ての	2 階 ~	3 階部分

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	実費
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

### (4)利用者の概要( 7月 17日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名
要介護3	5 名	要介護4	2 名
要介護5	4 名	要支援2	0 名
年齢 平均	82.3 歳	最低 70 歳	最高 97 歳

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	松下医院・有明病院・西国領歯科医院
---------	-------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

志布志市の中心に程近く建ち、母体となる医療法人の歴史は長く、ホームは旧医院を改装して平成18年に開設された。母体となる医療法人は地域の方々からの信頼も厚く、ホームに対しても地域の中の看取りの中心として期待されている。また、その期待に応えるため、理事長の最後まで安心して暮らして欲しいという思いから職員の人員配置、職員育成、介護計画等について配慮され、同じ敷地内にある診療所との連携も密にとっており、医療面においても家族の信頼が厚い。職員の職務に対する誇りも育成され、地域、家族、設置者、職員の力を合わせより良いホームとなっている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	管理者をはじめ職員は、自己評価及び外部評価の意義を理解し、全員で取り組んでいる。前回の改善課題への取り組みも職員会議で話し合いが行われ、前向きにとらえられている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価はそれぞれ職員が作成し、全員で話し合った結果をまとめた。その作業は職員が外部評価の意義を確認し目指す方向や課題を考える機会になったと認識している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	自治会長や入居者、家族の代表・民生委員・市・地域有識者・婦人会会長からの参加があり、議事録より、事業所の報告のみではなく、出席者からの意見や助言などを今後の運営に活かそうとしている事業所の姿勢がうかがえる。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	利用者の暮らしぶりや金銭管理は、定期的に書面にて報告されており、個々にあわせて報告がなされている。家族来訪時には、アルバムを提示し、細かい報告がなされている。日ごろから職員に対して苦情を訴えやすい雰囲気作り心がけ、家族会の際はもとより、訪問時の会話の中から要望や苦情をくみ取るようにしている。出された要望や苦情に対しては職員で改善にむけて話し合いを行い運営に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	敷地内に診療所が設置され、その診療所の歴史も長く地域からの信頼が厚い。調査時も通院される患者さんがホームに立ち寄り、利用者と共に茶を飲まれ談笑する姿があった。また、自治会に加入し、地域行事やゴミ捨て場の片付けに参加したり、回覧板をまわしたりしている。各種学校とのつながりも深い。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理念を基本に「地域の方と共に」と、地域と密着したホーム作りをホーム理念として掲げ、さらにユニットごとにケアの理念を掲げている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝のホーム全体のミーティング時にホーム理念を唱和し、さらにユニットごとの申し送り時にユニットの理念を唱和している。理念に基づき利用者への支援を実践し、毎年職員会議で検討されている。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敷地内に診療所が設置され、その診療所の歴史も長く地域からの信頼が厚い。調査時も通院される患者さんがホームに立ち寄り、利用者と共にお茶を飲まれ談笑する姿があった。また、自治会に加入し、地域行事やゴミ捨て場の片付けに参加したり、回覧板をまわしたりしている。各種学校とのつながりも深い。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者をはじめ職員は、自己評価及び外部評価の意義を理解し、全員で取り組んでいる。前回の改善課題への取り組みも職員会議で話し合いが行われ、前向きにとらえられている。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会長や入居者、家族の代表・民生委員・市・地域有識者・婦人会会長からの参加があり、議事録より、事業所の報告のみではなく、出席者からの意見や助言などを今後の運営に活かそうとしている事業所の姿勢がうかがえる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当窓口などへ事務手続きやその他の機会に頻繁に訪問し情報交換を行い、利用者の預かり金の相談など協働してサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶりや金銭管理は、定期的に書面にて報告されており、個々にあわせた報告がなされている。家族来訪時には、アルバムを提示し、細かい報告がなされている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日ごろから職員に対して苦情を訴えやすい雰囲気を作るために、家族会の際はもとより訪問時の会話の中から要望や苦情をくみ取るようにしている。出された要望や苦情に対しては職員で改善にむけて話し合いを行い運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理運営者は、馴染みの関係の重要性を理解しており、職員の交代がある場合は利用者に説明し混乱を防いでいる。また、1ヶ月程の期間を設けて引継ぎを十分に行うことでスムーズに移行し、利用者へのダメージを防いでいる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	習得度評価表のなかに経験年数に応じた職員向けの研修も計画され研修を行っているほか、施設外研修については職員に紹介し、受講費用の負担をしている。職員会議や申し送りの中で、研修報告を行うとともに職員の質の向上に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のホームと利用者、職員一緒に合同遠足や買い物企画され、気軽に他のホームの職員と交流できる機会が確保されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービス開始前にできるだけホームの見学や体験入居をしてもらい、見学や体験入居に来れない方にはスタッフが向ういて顔馴染みの関係を作るような取り組みをしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と入居者が、共に支えあい暮らしていくという気持ちを持ち、体を動かすレクリエーションや音楽活動等も頻繁に行われており、一緒に活動したり、楽しんだりする機会を多く設けている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	心身の情報シートを活用し利用者一人ひとりの話し傾聴し、日々のかかわりの中で思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、家族へのお便りや家族会を利用し家族と話し合い、本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	主治医が参加するカンファレンスを毎月計画作成担当者を中心に検討し、利用者主体の介護計画を作成している。職員の気づき、家族の意見の確認は介護計画作成時だけでなく日常的に行うようになっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	家族の意見、要望を取り入れ、状態の変化が生じた場合、そのつど見直しを行い、毎月の会議の中で介護計画の見直しの必要性を全職員で検討し、必要な場合は緊急会議を開いている。評価を月に一度担当者が行い、再度計画作成担当者が達成度や状況把握、今後の方向性を含め見直しを細かく行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	毎日、院長が利用者の健康状態を確認し、健康に配慮している。また、通院介助や家族の宿泊の支援など臨機応変な対応がなされ、退居された入居者の安否確認も行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は入居前からかかっている医療機関に本人や家族の意向を大切に決めていく。訪問治療受診時も適切に治療が受けられるように情報提供に努め、良い関係がつけられている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りに関する指針をサービス利用開始時に家族に説明し、同意をもらい職員で情報を共有している。同意をもらってからも、利用者の心身の状況など、その都度主治医からの説明を受けられるようにし、結果を記録に残している。法人の理念が看取りが基本ということもあり、過去にも事例が8例ある。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々のケアの中で利用者への言葉遣いや職員間の会話に配慮するように心がけている。さらに家族からは細かく同意がとられ、職員や実習生からは守秘義務の誓約書ももらっている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースや希望を取り入れ、その日の体調や気分に合わせて支援ができるよう努力している。希望があれば、晩酌や喫煙もできる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	雑誌や食材をみてもらいながらメニューを利用者と相談したり、買い物や調理・片付けなど能力に応じてもらったりしている。職員も同じ食事を同じテーブルでとることで和やかな雰囲気ですべてを楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調と希望に応じて入浴支援を行っている。入浴を拒まれる場合は、時間をあけて誘ったり誘い方を工夫したりして気持ちよく入浴できるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は、家事や趣味を楽しんだり、お手伝いをするなどでそれぞれの役割を見出している。また、公文書の勉強法を導入し、利用者の方が楽しみながら勉強されている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の気分や天候に応じて食事の買い物や散歩などを行っている。日常的にベランダや駐車場で外の気浴や散歩に出るほか、裏山にたけのこやつわを取りにでかけた後、地域のゴミ捨て場の片付け、地域行事等への参加を支援している。また、電車での旅行やドライブ等の行事等も行われている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ベランダ、玄関をはじめ各居室に鍵をかけない自由な暮らしの支援を行っている。職員は、利用者の状態を把握し、外出傾向がある場合はさりげなく一緒に散歩に出るなどの支援をしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的な訓練は行っており、消防関係者や地域住民の協力を得て訓練が行われている。災害時に必要とされる備蓄の管理も二週間分用意され、毎年職員二名ずつ防火管理者の資格を取得する計画や屋内消火栓操作大会では優勝するほど、災害に対する意識は高い。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士からアドバイスをもらっている。水分、食事摂取量を個人ごとに記録し、スタッフ全員で把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	心やすらぐ家庭的な雰囲気がただよい、生活感や季節感が感じられる空間となっており、リビングは日差しが差し込み明るく、過ごしやすい造りになっている。利用者は、和室やソファなど思い思いの場所でくつろげ、居心地よい空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真や花・鉢・カレンダー・時計・手紙などを配置し、その人らしく過ごせるよう配慮している。		